

伝産×〇〇のシナジー（CASE 3：フクオカ機業）

●ポイント

伝統の西陣織技術を活用してカーボン繊維の織物を「西陣カーボン」として展開（NISHIJIN CARBONとして商標登録）

自社にて、織機をカスタマイズ、大手企業とも契約
着物文化PRのイベントを企画・実行

●産地の現状

産地の出荷金額は、平成2年をピークに平成30年には1割を切る厳しい状況。
近年は更にコロナ禍の影響により減少。事業者の減少・高齢化も進んでいる。

●取組内容

同社は、長年培ってきた西陣織の伝統工芸技術に独自の技術を取り入れ、新しい素材（カーボン繊維、ガラス繊維、化学繊維）の織物として製品化することに成功。（産地でカーボン繊維を提供できるのは同社のみ）

ホテルのインテリア、鞆、ゴルフシャフト、釣竿、自転車等、着物以外の幅広い分野において商品化に結びついており、自動車の分野等からも関心を集めている状況。

西陣織の技術でカーボンを紋織りし、エポキシ樹脂で成形することで、図柄が立体的に見えるなど、これまでのカーボン素材とは一線を画する意匠性のある独特の風合いを付与することが出来る。

同社は、他の大手素材メーカーと異なり、織元であることから、条件さえあればどのような織物も提供することが可能。さらに、織のパターンによって強度を持たせる工夫もできるため、独特の織の技術が要求される商品化も検討中。

また、新たな取組だけでなく、伝統技術を残していくための活動にも力を入れており、他の伝産事業者と共同で、着物文化をPRするイベントを定期的に行っている。



●社長からひとこと！

新しい素材の西陣織については、問合せを多くいただいております、現在設備増強も検討中です。

産地で高齢化・事業者の減少が進む中でも、当社は若手採用に力を入れており、伝統を受け継ぐ職人を育成しています。

意匠図の作成から糸染、製織までの様子を当工房でご覧いただける工房見学も実施しています。



福岡裕典 社長

会社概要

有限会社 フクオカ機業 (<https://fukuoka-k.co.jp/company/>)

設立 1946年12月21日

代表取締役 福岡 裕典

事業内容 西陣の技術を結集した高度な織物の製造
コンピュータシステムによるデザイン開発
高度精密織物製造時に用いる織機備品開発
帯地、几帳、能装束等高度な絹織物の製造
“高性能—ハイファブリックス”の開発製造

